9月27日(火)

臆病な預言者

聖書朗読 エレミヤ 26:1~24

このとおり、私はあなたがたの手の中にあります。私をあなたがたがよいと思うよう、正しいと思うようにしなさい。 エレミヤ 26:14

オズの魔法使いに登場する臆病なライオンを皆さんはご存知かと思いますが、臆病な預言者はどうでしょう。彼の名は、シエマヤの子ウリヤ。彼もまたエレミヤと同じように、エルサレムについての預言をしていた人物ですが、この二人には違いがありました。それは、ウリヤが自らの命を救おうとしたのに対し、エレミヤは勇敢にも敵に自分の身を差し出したという点です。結局エレミヤの方は、神が命を救っていただきました。

神はパラドックスを好まれるようです。例えば、「自分のいのちを自分のものとした者はそれを失い、わたしのために自分のいのちを失った者は、それを自分のものとします」とありますが、つまりここでは、勇敢な姿勢には、真理が伴うという教えが込められているのだと思います。大胆な姿勢を欠いてしまうと、私たちの神に対する信頼やみことばの真理への確信が揺らいでしまうものです。

必ず守ってくださると神に信頼することによって、私たちは真理と御慈愛について大胆に語る事ができ、さらに、真の預言者の模範にならうことができるでしょう。

エレミヤはイエス様に似る者として歩んでいましたが、ウリヤはそうではありませんでした。イエス様は揺らぐことのない決意をもってエルサレムに向かわれ、そのおいのちをご自身の敵の手に渡され、彼らの手によって死なれました。けれども、神はイエス様を死から引き上げてくださったのです。

讃美歌 448

祈り 私たちの王であられる神様。私たちの道を正し、さらに、私たちが他の人々を正しい道に導くことが出来るようにしてください。あなた様の御子イエス・キリストのように大胆に語る事が出来るようにしてください。

イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

ジョン・H・ウィリアムズ
テキサス州 アビリン

9月28日(水)

神に愛される者

聖書朗読 エゼキエル 39:21~29

私たちが神の子どもと呼ばれるために、——事実、いま私たちは神の子どもです——御父はどんなにすばらしい愛を与えてくださったことでしょうか。

Iヨハネ 3:1

あるクリスチャンの大学教授ご夫妻のお話があります。とても仲の良いお二人でしたが、晩年、老人福祉施設に入所することとなり、施設は同じでしたが、介護レベルが違うために、それぞれ別のエリアで離れて暮らすこととなってしまいました。ある日、介護の方が奥様を車いすでご主人のところへ連れて行き、奥様はしばらくそこで時間を過ごしたのですが、介護の方が迎えに来る前に、ご主人が奥様をクローゼットの中に隠したということがありました。ご主人は奥様と離れ離れに暮らしたくなかったのでしょう。

神も同じように、私たちとの交わりを望まれ、離れていることを決してお望みにはならないのです。私たちは神に愛されている者ですから。

エゼキエルは、イスラエルの家の汚れと背きの罪のために、神が御顔を隠される時がくることを預言していますが、また神は、彼を通して、後に慈しみと赦しをお与えになり、それ以後は二度と御顔を隠すことはないとおっしゃっておられ、さらに、神の霊をイスラエルの家の上に注がれると仰せられました。

心に豊かに注がれる神の霊。それは、力の源です。神のご聖霊が私たちのうちに働かれるとき、周りの人々は私たちが変えられていることに気付くでしょう。

今日、私たちがイエス様ご自身の似姿へと変えられたことを示すチャンスではないでしょうか。皆さんもまずご家庭で実践し、良き証ができますように。

讃美歌 461

祈り 親愛なるお父様。あなた様が私たち一人ひとりの内なるものを変えて、あなた様の栄光を表す器としてくださることを感謝します。

イエス様のお名前によって。アーメン。

アン・K・ヤング
コロラド州 モニュメント

9月29日(木)

神は混沌のどこに

聖書朗読 ゼカリヤ 1:7~17

神はわれらの避け所、また力。苦しむとき、そこにある助け。 詩篇 46:1

2001年9月11日。あの日の悲劇を忘れる人はいないでしょう。アメリカの強さと叡智と繁栄の象徴であったあのワールドトレードセンターのそびえ立つ二つのタワーは瞬く間に崩れ去り、瓦礫の山と化し、多くの人の命が奪われ、ビジネスは大混乱しました。多くの人がこう思ったのではないのでしょうか。「この悲劇的な混沌とした状況のいったいどこに神がいるのか」と。

あの悲劇はニューヨークでの出来事ですが、これを私たちの人生というタワーに当てはめてみたらどうでしょう。経済的な安定、家族が無事であること、身体的に健康であることなど、こうした柱が崩壊してしまったらどうなるでしょう。

例えば、心が傷つき、将来が見通せず不安にかられ、悲しい出来事が起こり、病に侵されるようなとき、あなたも「この辛い状況のいったいどこに神がおられるのか」と思ったりはしませんか。

イスラエルの民も同じように、敵がすさまじい勢いでやってきてイスラエルに侵攻し、多くの命を瓦礫の山としていく度に、まさに同じ問いをしたに違いありません。続けざまに打ちのめされ、「神はこの混沌とした状況のどこにおられるのか」と思ったことでしょう。

「私たちの人生の混沌とした状況のいったいどこに神がおられるのか」。これは実は良い問いかけなのかもしれません。その答えは、「これまでもずっとおられたところに今もおられる」ということです。どのようなピンチにあっても、慰めのことばを語られながら、すぐ傍におられるのです。そして、そのような困難の時にはさらに近くで、私たちを心に留めてくださっています。このことを決して忘れずにいましょう。

讃美歌 39

祈り 親愛なるお父様。あなた様が常に変わらず私たちの避け所、また、力となってくださることを感謝します。混沌とした状況にある時にはとりわけ、あなた様にある平安と慰めを覚えていることができますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ベン・メルネス
テキサス州 アマリリョ

9月30日(金)

井戸の底にあるもの

聖書朗読 マタイ 6:1~8

高ぶりは破滅に先立ち、心の高慢は倒れに先立つ。 箴言 16:18

私が育ったアメリカ南部には、よく使われる表現に、「井戸の底にあるものは、バケツに入ってやがて表れる」というものがあります。つまりこれは、「心の奥底にあるものは、決していつまでも隠し通すことは出来ず、その人の言動を通して、やがて表に現れてくるものだ」という教訓であると理解しています。

イエス様は、宗教的指導者たちに教えを宣べ伝えられ、「うわべだけの素振りをしたり、霊的な仮面をかぶったり、自分が犠牲を払ったことについて誇ったりすることがないように」と戒めておられます。

私たち人間は、自分の罪を隠そうとしがちですが、私たちの不完全さは、何らかの形で明らかになってしまうものです。誰かの噂話をしたり、腹を立てたり、自分の愛する人でさえ侮辱したり、相手に対して絶対に赦さないと決め込んだりしてしまうものでしょう。

けれども、イエス様は私たちの心を内側から変えてくださると約束なさっています。イエス様こそ、私たちの唯一の希望であり生ける水です。イエス様が私たちの心を新しく造り変えてくださるので、心の「バケツに表れるもの」は、イエス様の豊かな祝福に飢え渴いた周りの人々にとっての甘い水となって表れることでしょう。

讃美歌 521

祈り お父様。あなた様に清めていただくために、自己中心的な思いをあなた様の前に差し出します。どうか、私たちの心を清いものに造り変えてください。そして、あなた様の御愛と恵みを言い表すことが出来るようにしてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ベツ・D・モア
テネシー州 ブレントウッド

10月1日(土)

失われた者への神の愛

聖書朗読 マタイ 18:10~14

人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。 ルカ 19:10

カリフォルニアに住むあるご夫婦のことですが、ある日、彼らはアリゾナに住む親しい友人から一本の電話を受け取ったのですが、それは、その友人が、夫との信頼関係が崩れてしまったためにこの結婚はもう終わりだと、絶望的な様子で涙ながらに語るものでした。これを聞いたカリフォルニアのご夫婦は、すぐに子どもたちの世話を人に頼み、一週間の休暇を取り、友人ご夫婦を何とか励まし支えることが出来ないかと思いながらアリゾナへ向かいました。そして帰り際には、結婚カウンセリングに必要なお金を置いて、他の友人たちに、祈りと彼らのケアを託し、カリフォルニアに戻りました。

この事を聞いて、私はある聖書箇所を思い出しました。羊飼いが99匹の羊を残して、迷い出てしまったたった一匹の羊を捜しに行ったというお話です。これは、神がそのようなお方であることを記したものです。神は、ご自身の子羊を一匹でも失いたくないと思っておられます。

私たちは、「離れ去って行く羊」を気に留めることもせず、離れ去るがままにしてはいないでしょうか。離れ去ってしまった人を救おうとして自らを「危険に晒し」たくないから。けれども、もし離れ去ってしまったクリスチャンを知っているなら、彼らを捜しに出かけることを考えてみてください。神の愛をもって彼らに手をさしのべること、それは、本当に力強いものです。神はあなたと、そして、失われた人の内に働かれます。

讃美歌 369

祈り 親愛なる主よ。あなた様の目には、皆等しく高価な存在としてくださっていることを覚えて、離れ去ってしまったあなた様の子羊を探しに行き救い出すことができるように、私たちに勇気をお与えください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

H・グレン・ボイド
アーカンソー州 サーシー

10月2日(日)

求めましょう！

聖書朗読 マタイ 20:29~34

すると、イエスは立ち止まって、彼らを呼んで言われた。「わたしに何をしてほしいのかも」 マタイ 20:32

私たちはそれぞれ、人生がとても素晴らしいことに気づいています。私たちは数えきれないほどの恵みを頂いています。それらの恵みが人生によいことをもたらします。しかし、私たちは人生が大変なものであるということにも同意できるでしょう。誰もが多くの問題を抱えています。

この箇所ではイエス様が『わたしに何をしてほしいのかも』と尋ねられたことは、私たちが元気づけてくれます。イエス様はこの二人が、自分の問題について要求できるようにしたのです。それだけでなく、イエス様はあわれみをもって彼らの要求を受け入れたのです。

私は、私たちの祈りが自分達の必要を完全にとらえているわけではないことをよく知っています。しかし、なんと素晴らしいことでしょうか。——イエス様が気にかけてくださっているのです。イエス様が私たちの問題や必要を理解してくださっています。そしてイエス様は私たちのことを心配してくださっているために、私たちの要求に応えてくださるのです。

イエス、イエス、どれほど彼のことを信頼しているでしょうか！

どれほど彼のことを証したでしょう！

イエス、イエス、大切なイエス！

彼をさらに信頼できることの恵みのゆえに！

——ルイーザ・M・R・ステッド

讃美歌 166

祈り 愛するお父様。イエス・キリストを通して私たちが持つことの出来る交わりに感謝します。私たちの想像さえも超える恵みを感謝します。私たちが心からあなたを求めることができる知恵を与えてください。

イエス・キリストの名によって。アーメン。

ケン・ジョーンズ
テキサス州 ラボック